神奈川県内科医学会糖尿病対策委員会

神奈川県実地医家の糖尿病関連腎臓病管理状況についての後ろ向き観察研究

神奈川県内科医学会糖尿病対策委員会は 2009 年に実地医家の診療実態に関するアンケート調査を行い、糖尿病患者の腎症管理における当時の実情や問題点を明らかにしました。2009 年当時に腎保護薬として使用可能な薬剤は ACE 阻害薬や ARB のみでしたが、最近では SGLT2 阻害薬、フィネレノン、GLP-1 受容体作動薬の有効性が明らかにされています。これに伴い、直近のガイドラインは糖尿病関連腎臓病に対する治療アルゴリズムとしてこれらの腎保護薬の使用を推奨するなど、実地医家における治療環境は大きく変化してきました。本研究は、神奈川県実地医家における糖尿病関連腎臓病の診療実態を明らかにすることを目的としています。

今回の調査では 2025 年 11 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日までの間に糖尿病診療を受けた患者さんを対象として調査を行います。ただし、通院期間が 6 か月未満だった方は対象外となります。研究は既存の診療録情報を用いて行う後ろ向き観察研究であり、本研究のために新たな検査や治療介入を行うことはありません。また、調査票には個人を特定できる情報は含まれず、収集されたデータは匿名化された状態で解析されます。

調査は紙媒体の調査用紙に記載し郵送または FAX にてご返送いただくか、Google Form を用いたウェブ入力を選択できます。つきましては、本研究の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。

1. 調査用紙
2. 調査用紙の記入例
3. 登録に関する概要
4. 研究情報公開文書
5. オプトアウト用掲載資料

紙媒体を郵送（FAX）いただく場合は神奈川県内科医学会までお願いいたします。
〒231-0037 横浜市中区富士見町 3-1 神奈川県総合医療会館 3F
神奈川県内科医学会（FAX：045-241-1464）

Google Form でご入力いただく場合は神奈川県内科医学会のメーリングリストで配信されるリンクをご利用ください。

ご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

【研究責任者】
松葉 育郎（松葉医院）
【研究分担者】
田中 翔（雨宮内科医院）
梅園 朋也（うめぞの内科クリニック）
【お問い合わせ先】
神奈川県内科医学会 糖尿病対策委員会

E-mail：tanakasho.amemiya@outlook.jp